

第 5 回 宇都宮市河内自治会議

日 時：平成24年9月5日（水）

午後2時00分～

場 所：河内地域自治センター

第1・2会議室

次 第

1 開 会

2 協議事項

（1）地域のまちづくりに関する施策の提案（テーマ：「教育・文化，健全育成」）について

①実現プランの設定について・・・・・・・・・・【資料1，参考資料1】

3 その他

（1）次回の開催日程について

（2）その他

4 閉会

【事例】

テーマ：産業・経済

実現方策が入っています。

(目標) 自然と調和したまちづくりをめざす

実現方策：地域住民への自然保護の教育

実現プランを付箋に記載して、ここに貼って、まとめて下さい。

小学校での自然体験型授業に活用できるモデルコースを地域内に設ける

小中学校の授業に自然保護に詳しい専門家を講師として招く

子ども会・育成会ごとに自然保護の勉強会を開く

河内地区内の小中学校で自然保護団体の方によるセミナーを開催する(保護者も参加)

自然に対して興味を持ってもらうような野外キャンプを体験する

ホテルの観察会やフクロウの観察会、またカブトムシの採集と育て方などのイベントを企画する

「トトロの森」というようなテーマや場所を作り、子どもたちへ自然の楽しさを伝える

谷川での自然観察会を実施する

大人が自然の中での遊び方を子どもたちに教え、自然について学ぶ

実現プラン抽出 グループ協議結果 《Aグループ》

目標	実現方策 《No.1》	文化財を多くの人に知ってもらう	
文化財を活用し、地域の魅力を発信する『まち』	実現プラン	文化財を案内するマップを作る。 文化財解説ボランティアによる定期的な見学会を行う。	
	付箋数	【実現プラン】付箋の記載事項	
	12		・文化財を案内する資料やマップ作り。(史跡)
			・文化財を案内するマップづくりでPRする。
			・文化財のミニ読本の解説書制作。(づくり)
			・地域内に文化財の掲示板を設置し、文化財マップやパンフレットを置きPRする。
			・屋台を公開して見てもらう。
			・屋台や公開のイベント実施。
			・文化財めぐりを地区ごとに分けて、実施する回数を増やす。
			・自治センター・学習センター等に常設展示できるスペースを設ける。
			・何があるか、文化財を調べる。文化財のまとめた本を作成する。
			・地域のイベントに文化財を披露する。
・自治会内の文化財めぐりなどのイベントを企画する。			
・文化財解説ボランティアによる定期的な見学会をおこなう。			
実現方策 《No.2》	文化財をまちづくりに活かす		
実現プラン	文化財の一般公開日を決めて、併せてフリーマーケット(花火・屋台等)を開く。		
付箋数	【実現プラン】付箋の記載事項		
6		・文化財の一般公開日をつくる。	
		・おはやし・獅子舞など、親子で発表出来る場所を作る。	
		・毎年、「文化財めぐり」のイベントを開催する。	
		・イベントに活用。(ウォークラリーなどして、文化財めぐりをする)	
		・地域の行事に文化財を盛りこむ。	
・夏祭りをする。(神社 等で)			
実現方策 《No.3》	文化財を守り伝える人材を育成する		
実現プラン	文化財解説ボランティアを育成する。講師の発掘。 勉強会、講演会等を行い、文化財を理解し、専門的知識を持つ。		
付箋数	【実現プラン】付箋の記載事項		
10		・説明出来る人材を育成する。	
		・文化財を後世に伝えるため、後継者育成の勉強会を開く。	
		・文化財に興味のある人を選抜、学びの場を作る。	
		・講師の発掘をし、育成者として講座をしてもらう。	
		・育成講座の実施。	
		・講座を開き、興味のある人に守り伝える人材として育成する。	
		・勉強会、講演会等を行って、文化財を理解し、専門知識をもつ。	
		・研修会の開催。(次世代に継ぐ)	
		・文化財解説ボランティアを養成する。	
・地域の人材を活用し、身近なところでの伝承活動を行う。			

目標	実現方策 《No.4》	子どもから高齢者まで学べる場をつくる	
生涯学習の充実により、子どもから高齢者まで笑顔で暮らせる『まち』	実現プラン	生涯学習センター内に、子どもの作品を展示する専用コーナーを設置する。	
	付箋数	【実現プラン】付箋の記載事項	
	10		・子供の作品を常時展示する会場を用意。
			・居場所づくり、身近な場所で交流。(学べる場)
			・地区公民館を活用し、昔の遊び、昔話などを通して子供と高齢者が学べる場を作る。
			・子供から高齢者まで参加できるおもしろい講座を開催する。
			・生涯学習のカリキュラムを作成。参加者募集。
			・学習センターの自主事業で子どもから高齢者まで参加できるあつまりをもつ。
			・地域活動の中に子供の保護者も参加させる。
			・遊びの中に「あやとり」などをとり入れ、高齢者に指導してもらう。
			・自治会で「竹馬づくり」を企画し、異世代で一緒にやる。
		・灯ろう流しをする。	
	実現方策 《No.5》	地域が主体となって学びの場をつくる	
	実現プラン	各自治会で、休耕地を利用して、自慢の出来る料理を、自然の中で多くの人に楽しんでもらう。	
	付箋数	【実現プラン】付箋の記載事項	
	8		・予算をとって講師を招き、専門の勉強をする。
		・自治会の班ごとに高齢者と子どもでつどう機会をつくる。	
		・各地域の自治会館を大いに利用する。	
		・各自治会のミニコミュニケーションのとれる場を作る。	
		・野外キャンプ場などを設置し、みんなが楽しめる場にする。	
		・他地域との交流を深め、生涯学習を通し講演会を行う。	
		・休耕地を多くの人に利用して戴き、自慢の出来る料理を大自然でイベントする。	
	・どんと焼きをやって他地域から人を呼ぶ。		
実現方策 《No.6》	高齢者の知恵や経験を子どもたちに伝える		
実現プラン	学校への高齢者による出前講座を聞く。		
付箋数	【実現プラン】付箋の記載事項		
5		・昔の遊び体験コーナーをつくる。	
		・郷土のむかし話をきかせる会の実施。	
		・持てる才能を地域の人達におすす分けをする。	
		・各団体の年間行事などを広報誌で知らせ、交流をして学ぶ。	
		・学校で出前講座を開く。	

テーマ『教育・文化，健全育成』

実現プラン抽出 グループ協議結果 《B・Cグループ》

目標	実現方策 《No.1》	文化財を多くの人に知ってもらう	
文化財を活用し、地域の魅力を発信する『まち』	実現プラン	小中学生や高齢者への歴史・文化教室の導入。	
		歴史資料センターを開設する。	
	付箋数	【実現プラン】付箋の記載事項	
	26		・文化財案内所を設置し、資料を配布する。
			・自然環境・文化財のウォーキングマップづくり。(河内区域)
			・文化財のリストを整えてガイドブックを作成し配布する。
			・文化財としての歴史，風土，自然を網羅した展示場・案内所を設ける。
			・伝統行事の再発見。
			・文化財を紹介する映像を作成し，上映・閲覧できる施設を設ける。
			・文化財マップの整備，広報誌等でのPRを充実させる。
			・新しい文化財マップを作成し，広報する。
			・文化財のHPでの発信。
			・文化・スポーツ・観光と歴史の地域マップを作成し，広く配布する。
			・小中学校向けに歴史・文化・自然を取り込んだ特育を充実させて，郷土愛を育む。
			・河内の歴史，風土，文化，自然をまとめた「河内ふるさと探訪」を再編纂して教材として作成・配布する。
			・歴史資料，マップ等すべての公共施設の窓口に依頼してPRを強化する。
			・文化財マップや散歩コース等を設定して配布する。(自然環境等と一緒に良い)
			・観光に関する広報活動の充実。(地図や案内所設置)
			・学校教育のカリキュラム改革を図る。(地域社会のリーダーを育成するシステムづくり)
			・学校教育や子供会，PTA等と連携して知ってもらう。
			・逆面，天王原におけるおはやし保存会五段ばやし等，無形・有形文化財の掘りおこし。
			・小中学生や高齢者への郷土の歴史・芸術・文化教育の導入。
			・地区まつりに天棚等の展示をお願いする。
			・文化発信拠点づくり。
			・郷土の歴史と文化を理解し，発展させるための展示施設づくり。
			・文化セミナーの開催。
・文化財のOJT。			
・自治センター・学習センターの再編に合わせて，河内歴史資料センターを開設する。			
・各地区でも何十年ぶりに祭が復活してる状況から「まつりの復活」。			
実現方策 《No.2》	文化財をまちづくりに活かす		
実現プラン		お祭り広場等を作って地域起こしにつなげる。	
		白沢宿に観光・レジャー拠点をつくる。	
		文化財見学コースに特産販売所を設ける。	
付箋数	【実現プラン】付箋の記載事項		
11		・白沢の白髪神社の参道を利用して，お祭広場等を作る。	
		・白沢宿の旅籠としての清水屋を再整備し活用する。	
		・白沢の活動センターを観光とレジャー，体力づくりの休憩所として活用する。	
		・河内地域の文化財である白沢ぼんてん祭りと屋台等を活用してイベントを盛り上げる。	
		・文化財見学コースに農産物等の販売所を。	
		・地区の育成会や学校行事に歴史・文化を取り入れたイベントを興す。	
		・お祭広場等を作って，地域おこし・街おこしに繋げる。	
		・お祭の見なおしと活用。	
		・お祭伝承の教育的活用。	

		<ul style="list-style-type: none"> ・ピオトープ(生物生息空間), ワークショップの充実。(楽しいからこそ夢中になれる(親と子ども一緒に)) ・文化財を掘り起こし広く学習会を催す。
	実現方策 《No.3》	文化財を守り伝える人材を育成する
	実現プラン	<p>文化財の継承者を選抜し, 任命する。</p> <p>文化財の維持・管理・指導者名簿を作成し, 支援する。</p> <p>小中学生に文化財に触れさせる。</p>
	付箋数	【実現プラン】付箋の記載事項
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人材バンクを作る。(自然, 教育と一緒に) ・隠れた人材を発掘し, 伝承活動に参加・支援する。 ・無形文化財の伝承者を選抜・任命して後継者作りを。 ・有形・無形の文化財を再整理し, 維持管理に向けて伝承者を育てる。 ・文化財説明員の養成と活用。 ・地域・自治会等で文化財維持管理・伝承の指導者名簿を整備し支援する。 ・文化財に関する学習会を活発に行い, 啓発活動を展開する。 ・地域の中から発信する場や方法を提供する。 ・地域の自然・歴史・文化の資源を特育化し, 小中学校に定着する。 ・小中学生に無形文化財を見せる授業を。 ・文化財説明員の養成と活用。 ・文化財勉強会的な場を作って, 人材育成を図る。
目標	実現方策 《No.4》	子どもから高齢者まで学べる場をつくる
顔生 で涯 暮学 らせ習 せるの 充実 『ま ちよ り』 、子 ども から 高 齢 者 ま で 笑	実現プラン	<p>異世代交流の機会を設ける。</p> <p>親子が楽しめるアドベンチャー施設をつくる。</p> <p>生涯学習センターを有効活用する。</p>
	付箋数	【実現プラン】付箋の記載事項
	14	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体が連携して異世代交流ができる機会と場所を設ける。 ・地区の公民館を子供と大人の学習交流の場として活用をプラン化する。 ・高齢者の余力の活用を図り, 保育園等との交流を促進する。 ・育成会の各種行事に幅広く参加できる内容を計画・実施する。 ・地域の情報誌をより充実して, 幅広い年齢層が共有化できる内容を編集する。 ・既存公共施設の有効利用。 ・3世代交流に気安く参加できるイベント, ゲーム, 映画会等を定着させる。 ・小中学生や高齢者への健康づくり教育の導入。 ・秘密基地の冒険アドベンチャーの充実。(空間で, 永遠の小学生が時代をつくる(親と子ども一緒に)) ・小学生対象とした高齢者による講話やスポーツの競技。 ・教育委員会の活性化と貢献。 ・介護施設における幼老交流の推進。 ・農家の人を講師として依頼し学校農園を充実させる。 ・生涯学習センターを中心に生涯学習の機会を作る。

目標	実現方策 《No.5》	地域が主体となって学びの場をつくる		
生涯学習の充実により、子どもから高齢者まで笑顔で暮らせる『まち』	実現プラン	自然環境を活かした学びの場をつくる。		
		産学官が連携して、小中学生に働く意識を学ばせる。		
		学校の地域コーディネーターの活動を推進する。		
	付箋数	【実現プラン】付箋の記載事項		
	24	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が気楽に一同に会して活動する行事を活発に行う。 ・地域活動・自治会活動の中に、おもしろいもの・ためになるもの等の学習の場を設ける。 ・「スポーツのまち」として広く啓蒙し、各種のイベントを開催する。 ・スポーツの町として大人が子供を支援する仕組みをつくる。 ・当地区はスポーツの振興に特に力を入れているところですが、施設を利用するに当り、施設の不備等のないよう施設環境の整備を図り、スポーツの振興・発展を図りたい。 ・文化財の発掘・整備と観光コース設定。 ・子供が地域に貢献できる取り組みを計画し、指導する。 ・安全で安心でき、進んで遊びに行きたくなる、遊びの場・学びの場の拠点を再構築する。 ・地域内の産・官・学が連携して小中学生に働く意義を植えつけ、仕事の見学・体験に取り組む。 ・お祭の見なおしと活用。 ・NPO法人グラウンドワーク西鬼怒などの自然環境保全団体と学校、幼稚園、保育園などを結びつける田んぼの学校への積極的関わりの充実。 ・中学生を中心に学校農園で収穫した農作物の即売会を広く。(PTA中心) ・敬老教育。 ・幼児尊重教育。 ・生涯学習への情報化技術の導入と普及。 ・学校の地域コーディネーター活動の推進。 ・カリキュラム改革を図る。社会全体のシステムにトフィするタイプード力の養成機能を特化させる。 ・健康づくり教育セミナー開催。 ・医療教育セミナー開催。 ・文化セミナー実施。 ・介護教育セミナー開催。 ・拠点をつくる。(指定する)学びの場、自然の場を決めると良い。(拠点地域) ・地域毎にグループ作りをして、学習研究会等を実施する。 ・カリキュラム改革を図る。(読む、書く、話す、考えるの充実を推進しディベード力を養成していく) 		
		実現方策 《No.6》	高齢者の知恵や経験を子どもたちに伝える	
		実現プラン	高齢者から進んであいさつ運動を展開する。	
			高齢者の人材をリストアップし、リーダーを養成する。	
			高齢者の人生経験を徳育に活用する。	
		付箋数	【実現プラン】付箋の記載事項	
		16	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者から進んで挨拶運動を展開する。 ・地域ぐるみで子供の異常に気を配るシステムを作り上げる。 ・いじめ社会をなくすために(教育方針・運営システム・理念)を見直す必要あり。 ・年間行事や地域行事・民間信仰寺を通して、子供達や地域に伝える。 ・学校や子供会、PTA等と連携して学びの場をつくる。 ・ハートフル運動会に幼児などの参加を多く。 ・小中学校での生涯学習のカリキュラムを確立して、昔話、論語、偉人伝、マナーを特育する。 ・高齢者の人材バンク的な資料を作り、指導的人材の確保、PRをする。 ・高齢者学級制度の開設。(健康づくり)保健所の職員を講師に。 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校で高齢者の体験伝承授業を。 ・「ようこそ先輩」のような各人の得意な情操教育や道徳教育のマナー特育を展開する。
	<p>老人クラブ(おおいちょう)が、西小学校では、毎年、昔の遊びを行っております。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者は、小中学校で歴史・体験等の各種の特育を実施する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者は、親子でイベントに参加できる昔の遊びを伝承する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の多分野の知恵の発掘と伝承。
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者や活動者を調べて一覧にして場面展開出来る様にする。

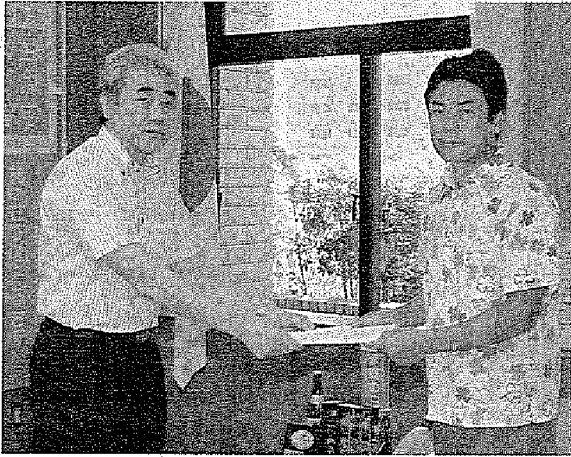
上河内生涯学習センター整備を

河内は自治拠点改築など

上河内・河内自治会議 合併基本計画執行を答申

上河内自治会議(大田正会長)と河内自治会議(杉原弘修会長)は7日、今年4月に諮問を受けた「合併市町村基本計画の執行状況」についての答申書をまとめ佐藤市長に提出した。答申書によると上河内自治会議は、上河内生涯学習センター整備、並びに上河内中学校特別教室棟・体育館耐震化工事を早急に実施することや、地域交流館への足湯設置などを要望。河内自治会議は、地域自治拠点の改築や岡本駅前周辺整備、岡本小など小中学校3校の耐震化促進などを要望した。また、両会議とも道路や上下水道の整備促進を求めた。

道路、上下水道整備促進も



佐藤市長に答申書を手渡す大田会長(左)

上河内自治会議の要望のうち、上河内生涯学習センターの整備は今年度、市の具体的な整備に向けた検討を推進中。自治会議は、同施設について狭路で老朽化が進みバリアフリーへの対応も不十分なことから、早急な対応が必要と指摘するとともに、地域の意見を反映した誰もが安全かつ快適に利用できる施設とすることを要望した。

上河内中特別教室棟・体育館についても早急な整備を要望。特別教室棟は今年

度実施設計をまとめる予定で、来年度に工事を行う公算が高い。体育館は平成21年度に耐震2次診断を行っており、27年度までに耐震化する予定。地域交流館の整備事業については、温泉を活かした足湯の設置など利用者ニーズに対応した施設の充実を要望した。

このほか上河内自治会議は、一部未完了区間が残る市道1011号線と事業未着手の市道13127号線の計画的な整備や、市道13125号線の早期開通、東部・西部地区の上下水道施設を結ぶ東西連絡管の整備、公共下水道の一日も早い整備、農道の計画的整備などを要望した。

河内自治会議は、地域自治拠点の整備場所や施設内容などを盛り込んだ具体的な整備計画を早急に策定することを求めた。

市では同施設と中央公民館、生涯学習センターの一体的整備に向けた検討を進

めており、自治会議は整備計画に地域住民の意見を反映させることを要望している。

岡本駅前周辺整備は、東西自由通路や橋上駅舎の整備が事業化されており、今年度は設計を行う予定。自治会議は、市マスタープランで同駅周辺は地域拠点の一つに位置付けられていることから、早急な整備着手を要望。併せて、岡本駅西土地区画整理事業の計画的な整備促進を求めた。

小中学校校舎については、今年度耐震補強工事を行う岡本西小や実施設計をまとめる岡本小など、3校の耐震化を速やかに完了させることを要望した。このほか河内自治会議は、市道20042号線は、市道20042号線の早期整備完了や市道200354号線整備の具体化、公共下水道、農村公園、農道

などの計画的な整備を求めている。

答申書を受け取った佐藤市長は、「合併市町村計画は、現在本市が進めている第5次総合計画の中にその主旨を落とし込み、各種施策を進めている。上河内、河内自治会議には今後ともアドバイスを頂きたい」と述べた。

市長、公共交通などに重点

その後の歓談で、上河内自治会議は地域交流館への足湯整備、河内自治会議は地域自治拠点の整備を特に要望。佐藤市長は河内自治会議からの要望に応えていく考えを示すとともに、「市全体の発展のためにも、自然・公共交通・教育に重点を置いて施策を進めていく」と述べた。

【テーマ】教育・文化、健全育成 A・B・C グループ

No.	目標	実現方策(案)	⇒	実現プラン
7	水と緑を活かした学びを通して自然と親しめる『まち』	地域の貴重な自然を守る教育を進める	⇒	
8		地域の素晴らしい自然をまちづくりに活かす	⇒	
9		農業体験や食育を通して自然の大切さを学ぶ	⇒	
10	地域参加のみんなが楽しく行事に『交流の盛んな』	地域のみんなが楽しめる交流の場をつくる	⇒	
11		地域の各種団体や学校との連携を強化する	⇒	
12		地域活動の指導者を育成する	⇒	